

**メトホルミン塩酸塩錠 250<sup>mg</sup> MT「三和」**

**服用中の注意点**

**小児の患者さん 向け指導箋**



製造販売元

株式会社 **三和化学研究所**

# メトホルミン塩酸塩錠 250<sup>mg</sup> MT「三和」

を服用されている方へ

あなたがのおくすりは  
血糖値を下げるおくすりです。

## ＊ おくすりののみかた ＊

- お医者さんまたは薬剤師さんの指示通りにのんでください。
- のみ忘れてしまったときは、1回とばして次の時間に1回分のみましょう。2回分を一度にのんではいけません。

## ！ 低血糖に注意しましょう

- ◎血糖値が低くなりすぎると、強い空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛などの低血糖症状が起きることがあります。その場合はすぐに砂糖やブドウ糖をとりましょう。砂糖とブドウ糖のどちらをとるのがよいかはお医者さんまたは薬剤師さんにききましょう。
- ◎高くて不安定なところにいるとき、自転車に乗っているときに低血糖症状を起こすと事故につながる危険があります。

## ！ 乳酸アシドーシスという副作用をおこさないために

- ◎熱があるとき、下痢（げり）や嘔吐（おうと）があるとき、食欲がなく食べられないときは、おくすりをのむのをいったんやめてお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
- ◎適度に水分を取りましょう。

# メトホルミン塩酸塩錠 250mg MT「三和」

## をのむときに気をつけること

### 保護者の方へ

このお薬では、低血糖、乳酸アシドーシスといった副作用がおこることがあります。保護者の皆様には、下記内容を良く読んでいただき、日ごろから注意深く観察し、気になる症状がある場合は、すぐに医師にみてもらうようにしてください。

#### ◇低血糖

- 患者さんに「強い空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛」などの低血糖症状がみられたり、「ボーッとしている、うとうとしている、ろれつが回らない」などの様子に気づいたときには、すぐに砂糖やブドウ糖をとらせてください。
- $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬と呼ばれる薬をのんでいる場合には、砂糖ではなくブドウ糖をとる必要がありますので、あらかじめ医師または薬剤師に確認してください。
- 砂糖やブドウ糖をとれば通常5分以内に症状は改善しますが、よくなることや「意識がなくなる、けいれんを起こす」などの場合にはすぐに医師にみてもらうようにしてください。

#### ◇乳酸アシドーシス

- まれに乳酸アシドーシスという治療が必要な副作用がおこることがあります。症状は、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、筋肉痛、呼吸が苦しい、などです。これらの症状がひどいときまたは続くときは、すぐに医師にみてもらうようにしてください。
- 脱水状態のときは乳酸アシドーシスが起きやすくなりますので、脱水が起きないように注意してください。発熱、下痢、嘔吐、食欲がなく食事がとれないときは脱水を起こすことがあります。このようなときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「三和」をのむのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。
- 次のときにはメトホルミン塩酸塩錠MT「三和」をのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

手術を  
受けるとき

ヨード造影剤と呼ばれる薬を使う  
検査や治療を受けるとき

何か別の薬を  
もらうとき

主治医または薬剤師の連絡先

2015年8月作成

MET-08 85442 SG0815